

企画実践 若手研究者研究活動助成による成果報告一覧

★寄贈文献はキャリアデザイン推進室(マーキュリータワー3509室)にて保管管理

No.	氏名	社会科学の先端的研究者養成プログラム/ キャリアデザインの間としての大学院プログラム	年度	種類	発表した研究成果	指導教員
1	八木沼 明子 (ヤギヌマ アキコ)	キャリアデザインの間としての大学院プログラム	H19(2007)	フィールドワーク (国外)	【単著書】 島津あき 『親なき子』、金曜日、2007年.	渡辺 雅男
2	福澤 徹三 (フクサワ テツゾウ)	社会科学の先端的研究者養成プログラム	H18(2006)	フィールドワーク (国内)	【共著書】 福澤徹三 「吹上隧道開通運動と川口昌蔵-積極主義下の地域状況と名望家の要件-」、渡辺尚志編著 『近代移行期の名望家と地域・国家』、名著出版、2006年、455-504頁.	渡辺 尚志
3	福澤 徹三 (フクサワ テツゾウ)	社会科学の先端的研究者養成プログラム	H19(2007)	フィールドワーク (国内)	【共著書】 ①福澤徹三 「近世後期の畿内における豪農金融の展開と地域」、渡辺尚志編 『畿内の豪農経営と地域社会』、思文閣出版、pp.227-291、2008年. ②福澤徹三 「近代における岡田家の金融活動-畿内の無担保貸付への私的所有権確立の影響-」、渡辺尚志編 『畿内の豪農経営と地域社会』、思文閣出版、2008年、431-472頁.	渡辺 尚志
4	栗林 尚美 (クリハヤシ ナオミ)	キャリアデザインの間としての大学院プログラム	H19(2007)	フィールドワーク (国外)	【共著書】 栗林尚美 「世俗主義の崩壊? -トルコ情勢のいまを読む」、内藤正典編著 『激動のトルコ9. 11以後のイスラムとヨーロッパ』、明石書店、2008年、40-60頁.	内藤 正典
5	堀 彩子 (ホリ アヤコ)	キャリアデザインの間としての大学院プログラム	H19(2007)	フィールドワーク (国外)	【共著書】 堀彩子 「ドイツにおけるスカーフ論争」、内藤正典編著 『激動のトルコ9. 11以後のイスラムとヨーロッパ』、明石書店、2008年、196-215頁.	内藤 正典
6	道家 瑠見子 (ドウケ ルミコ)	社会科学の先端的研究者養成プログラム	H19(2007)	プレゼンテーション・ アップロード	【論文】 Dohke, Rumiko and Koji Murata, "Ease of retrieval of regrettable actions/inactions and the evaluation of the past", <i>Hitotsubashi Journal of Social Studies</i> , Vol.40, No.1, July 2008, pp.73-79.	村田 光二
7	朴 敬玉 (ハク ケイギョク)	社会科学の先端的研究者養成プログラム	H19(2007)	フィールドワーク (国外)	【論文】 朴敬玉 「朝鮮人移民の中国東北地域への定住と水田耕作の展開—1910~1920年代を中心に」、『現代中国』 第82号、2008年、67-80頁. 【受賞】 第5回太田勝洪記念中国学術研究賞受賞、2009年1月31日(前掲論文に対して).	三谷 孝

No.	氏名	社会科学の先端的研究者養成プログラム/ キャリアデザインの場合としての大学院プログラム	年度	種類	発表した研究成果	指導教員
8	武井 寛 (タケイ ヒロシ)	社会科学の先端的研究者養成プログラム	H19(2007)	フィールドワーク (国外)	【論文】 武井寛「北部都市における公立学校の人種隔離撤廃運動-一九六〇年代のシカゴを事例にして-」、『一橋社会科学』第5号、2008年、213-236頁。	貴堂 嘉之
9	埴田 健司 (ハニタ ケンジ)	キャリアデザインの場合としての大学院プログラム	H20(2008)	プレゼンテーション・ アブロード	【受賞】 第6回助成研究論文吉田秀雄賞(大学院生の部 第2席)2008年11月7日 (埴田健司「広告の思い出しやすさに関する心理学的研究-広告における検索誘導性忘却の検討-」、『第41次(平成19年度)吉田秀雄記念事業財団助成研究報告書』に対して)。 ▶ 吉田秀雄記念事業財団ホームページ (http://www.yhmf.jp/activity/paper/past06.html) ※上記受賞研究は、プレゼンテーション・アブロード助成による研究発表を、吉田秀雄記念事業財団助成研究報告書としてまとめたものである。 ▶ プレゼンテーション・アブロード助成による発表のレファレンス Hanita, Kenji. And Koji Murata, "Remembering advertisements leads to forgetting other advertisements". Poster presented at <i>29th International Congress of Psychology</i> , Berlin, Germany, July 2008.	村田 光二